

白方小学校区 村政懇談会

日 時：平成21年7月2日（木） 午後7時～9時

場 所：白方コミュニティセンター 会議室

参加者：村執行部（村長，副村長，教育長，総務部長，企画政策部長，福祉部長，
経済環境部長，建設水道部長，消防長，教育次長，議会事務局長）
事務局（自治推進課長，課長補佐，自治推進課職員4名） 計17名
自治会長（白方区，豊岡区，岡区，百塚区，亀下区，豊白区，村松北区，
原子力機構百塚区）

参加者：白方区…17名，豊岡区…5名，岡区…5名，百塚区…5名，
亀下区…5名，原子力機構百塚区…1名，豊白区…8名，
村松北区…7名，その他…25名 計78名

司会進行：豊岡区自治会長

1. 開会
2. 学区内自治会長代表あいさつ（村松北区自治会長）
3. 出席者紹介（自治会長及び村執行部）
4. 村長あいさつ及び「平成21年度村政に関する説明」
5. 「東海村が目指す学区自治会の方向性」について（村松北区自治会長）
6. 事前質問に関する回答
7. 懇談

○白方区住民

村上村長以降，住民自治が進んだという実感があります。鳥取県智頭町は住民自治に対するセンセーショナルなニュースが話題になりました。智頭町は財政が非常に逼迫した町で，町長が住民100人を任命し6項目にわたって政策を検討させました。報酬なしで，140件もの案が出され，議員も賛同し，素晴らしい案には予算がつけられ実行されました。私は非常に感激しました。住民がまとまったのは，財政が逼迫し，危機感があったためと考えられます。自治会に加入している人，入っていない人の共通の目標をつくる第5次総合計画の委員の中に自治会に入っていない人を何人かピックアップするなどいろいろな方策が考えられると思います。今までと同じ促進の仕方では自治会加入率の上昇は期待できません。自治会加入促進について，現在の施策を凌駕する段階にいけるかどうか，具体的にどういう考えがあたりなのか聞かせていただきたい。

○総務部長

自治会加入率については，強制的に入れるという話もあります。強制にすれば，ごみ当番などの不平等もなくなります。一方で，入りたくない方は，個人の自由をある程度守ってほしいという意見もあります。現在は条例の検討中で意見が分かれています。村として「常会に入りたければ入れてもらえない方もいる」と聞いています。班（常

白方小学校区 村政懇談会

会) 単位をもう少し小さく、5～6人で班(常会)をつくって自治会に加入できるような環境整備を村として考えていきます。班(常会)に入れるような最低限の組織、今は班(常会)単位でしか自治会に加入できないが、もう少し小さくして、仲間だけでも自由に加入できるような形を考えています。単位自治会に入るには「こんなメリットがある」というような提起もしていきたいと考えております。

○企画政策部長

第5次総合計画の視点から補足をしたいと思います。7月13日に策定委員会をたちあげ、部会の開催を実施します。その中で各地区委員会の代表の方、一般公募の住民の方に参加していただきます。自治会に加入しているかどうかは現時点では分かりません。また、現在の施策を凌駕する段階にいけるかどうかという話がありましたが、まさにそういうことを目指していかなければならないと思っています。総合計画を策定することが目的ではなく、計画をいかに活用するか、PDCAサイクルがきちんとまわるかどうかと重要であると考えています。第4次総合計画の中にもその仕組みが組み込まれていましたが、10年前で少し先進的、早すぎたと思います。地区委員会をつくりましたが、組織として地域に落ちていませんでした。地域の代表という仕組みになっていませんでした。住民のみなさんが評価するという仕組みが十分に機能しなかったといえます。第4次総合計画の中で、「まちづくり推進会議」をつくり、そこで毎年度見直しをしていく仕組みをつくりましたが、足元がまだ固まっていない段階でつくったため機能しなかったといえます。第5次総合計画では、ご指摘いただいたことを問題意識としてとらえて、十分考えていきたいと思っておりますのでどうぞ御協力いただきたいと思っております。

○白方区住民

環境都市宣言をするという説明がされましたが、早急につくっていただきたいと思っております。宣言をすれば良いということではなく、中身が問題になります。ぜひ具体的な形でまとめていただきたいと思っております。環境については、地域のみなさんが環境に対する意識をもたないとうまくいきません。道路は「行政がやるもの」という意識ではうまくいくはずがありません。行政がやることと住民がやることをもう少しきちっと整理していただきたいと思っております。例えば、道路に堆積した土がそのままになっており、そこに雑草が生えます。それを除草しても堆積した土を処理しなければ、除草しただけで、すぐ雑草が生えてしまいます。小学校の通学路になるため、子どもたちはそこを毎日通わなければなりません。このように根本的な対策がなされていません。また、監視員制度があると議会で傍聴しました。15名程度で体制をつくっても無理であろうと思っております。少なくとも自治会から10名～15名程度登録をして、全体的に監視員制度をつくって何をやるかルートをきちっとフィードバックできるような制度をつくってほしいと思っております。次はコミセンについてです。コミセンの広場は草茫茫。全然活用ができません。年2、3回刈っているようですが、その程度で解決できるよ

白方小学校区 村政懇談会

うな問題ではありません。本当のコミュニティセンターとしての機能が半分くらい、屋内は使われているが、屋外はほとんど使われていません。ぜひお願いしたいのは、この場所を利用してグランドゴルフやゲートボールができるよう整備をお願いしたい。全体で600万から700万円かかるそうですが、これはもう少し節約すれば何とかなると思います。すぐにはやっていただけないわけですが、来期の予算の中で御検討いただいてこの白方コミュニティセンターが1つのモデルケースとして、内外ともに機能するようなことになるようぜひ検討していただきたい。事前質問で、原子力機構百塚原社宅跡地についての話がでました。なかなかうまくいかないようですが、もしうまくいかないようでしたら、道路際の方には少なくとも花壇くらいはつくってほしい。今は刈ってあるが、草茫茫でした。柵を作るだけでなく、全体的な美観を考えてほしいと思います。他人の土地だからどうしようもないというのはちょっと問題ではないかと思っています。

○経済環境部長

環境の範囲は幅広いです。農業も環境だと思います。鹿島で環境フォーラムを行ったが、東京から来た講師が鹿島駅で降りたところ、第一声は「何がまちづくりだ！俺は帰る」だそうです。駅の前のごみ箱からごみがあふれ、散らばっていたようです。こんなまちで何が環境フォーラムだと怒ったそうです。草を処理するのに予算立てするのは不可能といってもよいと思います。現在、各地区がかなりきれいになっています。これは、地区のみなさんとの協働によるところもあるので検討しながら実施していくという形はあると思います。環境都市宣言についてはようやく検討に入ったところです。茨城大学の先生、その他大学の先生、環境アドバイザー、一般の主婦の視点、いろいろな方に入っていただいて、現在、村の案をいろいろ検討されているところです。いろいろな環境の視点から意見をいただきみなさまにも提示し、パブリックコメントをいただく形になると思います。

○建設水道部長

道路の除草と土の堆積についての話がありました。良い御意見をいただいたと思います。道路に関しては、除草作業と土砂の路面の清掃と年間を通しての作業を分けて頼んでいます。除草が終わった後、入る場合もあるますが、それが逆の場合もあると考えられます。業者に委託する仕方を内部でも調整していきたいと思います。道路に関しての花壇の手入れ等、地域のみなさんの協力のもと、各地区でやっていただいています。村でサポートしている団体は14あります。継続していくのが難しくなっていますが、ぜひ継続して行ってほしいと思いますのでよろしくお願いします。

○白方区住民

昨年、農業と商工業を格上げして活性化させてはという話をしました。その後、検討されているのかどうか。村長が農業と商工業を活性化して地元を元気にするといっているのです、どう考えているのかお聞きしたい。

白方小学校区 村政懇談会

○経済環境部長

ファーマーズマーケット「にじのなか」に、県内では初めて農協の直売所の中に村の要請で農業支援センターができています。農業の支援に力を入れる施策で、土日みなさんの中に顔を出して、地域の実情をつかみ、待っているだけの対応ではなくしようという意識で職員は対応を考えています。ぜひ地域で何か開催するときは声をかけていただきたいと思います。

○白方区住民

システムのもう少ししっかり答えていただきたい。農業については今答えたが、そういうことではなく、課にするのか、もっと力を入れるのか入れないのかを教えてください。

○総務部長

昨年もそういう話がでて、組織を強化して欲しいという話でありました。昔から「経済課」という名称を使っており農業を強化するために「農業課」という話が昨年もありました。地方公共団体ができてから今まで経済課という名称を使っています。経済課の中にも、商工観光、農業委員会などいろいろな組織があります。名称を変えたから農業が強化されたという問題でもありません。組織的には毎年見直しています。その中でも人員の配置など考慮しています。そういう形で農業に力を入れていることを御理解いただきたいと思います。

○白方区住民

名称については触れているが、政策推進課はどうなのか。良い方向に推進しているのか。

○企画政策部長

総務部長が申し上げましたとおり、組織の見直しの関係でこの件は内部でも議論いたしました。平成21年度は農業関係の増員という形で結論は出ました。組織のバランスを踏まえて、増員との関係でこういう結論になりました。

○白方区住民

先ほどの方の意見に全く同感で「ごみゼロ推進課」とはどういったことをやっているのかお聞きしたい。「世帯から出るごみ」については非常によく管理され、うまく行っていると思います。その結果、ごみは減ったことは評価してよいと思います。問題は道路の脇や土手に捨てられているごみが非常に多いこと。自動車から捨てられたごみに対する行政の施策は何かやっているのでしょうか。東海村の事業主に対して、年に1~2回集め、東海村ではこういう美化活動をやっているのでもってほしいと指導したり、アパート経営者や貸家を経営している人を集めて、新しく入居する方にもきちんとごみの分別するような指導をしてもらい、環境についての意識を高めて欲しい。団体やボランティアだけでなく、村民みんなでやるという施策を地味ながら繰り返していかないと表面だけの行政になってしまいます。それでは、環境都市宣言どころで

白方小学校区 村政懇談会

はありません。高い意識を村民がもつような仕組，指導，教育を行政だけでなく，自治会としてもやる必要があると思います。意識改革の行政指導を自治会も含め，ぜひ自分の住む地域を汚さないという意識づけをぜひお願いしたい。また，学区自治会の説明を受けたが，さっぱりわかりませんでした。この制度になったら，良くなるのか，悪くなるのか分かりません。組織をつくれればよくなるということは大間違いです。役員ばかりができて，かえってややこしくなるのではと思います。何回聞いても分からないので浸透しないのではないか。もう少し検討していただきたい。

○村長

環境について素晴らしい提言をいただきました。それを実行するために環境都市宣言をします。村，事業所，住民，団体と協力して，村を通過する人に，ここは汚せないと思わせるまちをつくるため環境都市宣言を行いたい。意識改革を伴わない環境都市宣言をしても意味がないと思います。こちらの案に対しては環境審議会のみなさんにどんどん検討していただきたいとお願いしています。今の良いご提言を聞かせていただきありがとうございました。

8. 閉会